

## 「(仮称) 北海道島牧沖洋上風力発電事業 計画段階環境配慮書」の提出

2025年1月14日 関西電力株式会社

当社とRWE Renewables Japan 合同会社は、本日、環境影響評価法に基づき、 北海道島牧沖洋上風力発電事業に関する計画段階環境配慮書等<sup>※</sup>を経済産業大臣へ 提出し、北海道知事へ意見を求めました。

配慮書等は、本年1月15日から2月14日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

両社は今後、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、環境保全に十分 配慮し、事業実施の可能性など検討を進めてまいります。

当社グループは、2040年までに国内で新規開発500万kW、累計開発900万kW 規模を目標に再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現 に貢献してまいります。

※環境の保全のために配慮すべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

以上

## く(仮称) 北海道島牧沖洋上風力発電事業の概要>

事業者	関西電力株式会社、RWE Renewables Japan 合同会社
場所	北海道島牧村の沖合海域
設備規模 (発電出力)	最大 600,000kW程度 (14,000~24,000kW級風力発電設備 最大43基程度)
今後の流れ	配慮書(今回)→ 方法書 → 環境調査 → 準備書 → 評価書

## <事業実施想定区域>



※上図は国土地理院で公開されている地理院タイルを使用 ※赤枠の範囲内が事業の可能性を検討している範囲